

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 イザヤ書 43:18~19	讃 美 歌 228 ガリラヤの風
讃 美 歌 55 今日はひかりを	獻 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 ヨブ記 12:7~10	主の祈り 564
ヨハネによる福音書 1:35~42	頌 栄 542 世をこぞりて
讃 美 歌 265 世びとの友となりて	祝 禱
説 教 『知るより、知られている』	後 奏

「何を求めているのか(ヨハネ1:38)」。ヨハネ福音書ではこれがイエスの発した第一声。洗礼者ヨハネの二人の弟子(1:37)に対する問い合わせであった。彼らの師であったヨハネが「歩いておられるイエスを見つめて[見よ、神の小羊だ]と言ったから(1:36)」、「この機会を逃しちゃいかん」とイエスに従った(1:37)。ヨハネは前日にも、近づいて来たイエスのことを「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ(1:29)」と言い、その理由を述べている(1:30~33)。想像するに前日から、二人の弟子の胸中はざわめいていたのではないか。そして翌日再びイエスを見かけ(1:35)、師ヨハネからの促しもあったので、ここぞとばかりにイエスに従った。それから短いやり取りがあって、二人の弟子はイエスの許に泊まった(1:39)。

キリスト者はイエスの弟子たちが羨ましい、と思うだろう。彼らのように十字架の時にはきつい挫折に遭い、晩年に殉教の危機にさらされても、生きたイエスに出会えたことは何よりかけがえがない。

「見よ、神の小羊だ(1:36)」と示された通り、「世の罪を取り除く(1:29)」メシア(1:41)の姿をありありと見た。皆さんには、家族や財産や馴染んだ自分さえも手放しうる、衝撃的な出会いを願うだろうか。

弟子たちの「師」はイエス御自身であった。次の世代パウロやバルナバの「師」は、イエスを知っている弟子たちと(使徒 15:2)、聖霊(13:4)であった。それでは私たちにとっての信仰の「師」は何であろうか。聖書と聖霊か。聖書に記された「人間の言葉」を、人間を超える「神の言葉」として生起させる聖霊の御働き。聖霊はまた「御言葉」だけでなく、神の風として私たちの現実を吹き抜ける。

キリスト共同体としての教会もまた、私たちの「師」ではあろう。だからといって教会の教えを無謬とし、教義や体制を神格化することには気をつけたい。教義の権威をふりかざすと、「救い」の条件を列挙しうる律法のようになるからだ。一方でまたキリスト原理主義の盲信にも要注意。理性を拒み、聖書の「人間の言葉」を無謬とし、聖霊なしに、都合よく用いる「聾聾の引き倒し」になるからだ。

それでは、私たちは神の御心をどう受け取ればいいのか。聖書を自分の心で読み、自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の手で触れること。言うほど簡単ではないが、それを心がけたい。礼拝の説教や聖書研究などを手引きとしながらも、盲従せず、予感でも、直観でも、実感でも、「自分で」味わう。

「イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった(1:40)」。アンデレは「メシアに出会った(1:41)」と兄弟に言い、兄弟は「そんなメシアならぜひ会いたいものだ」とイエスの許へ来た(1:42)。すると「イエスは彼を見つめて、[あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ——『岩』という意味——と呼ぶことにする]と言わされた(1:42)」。シモンはイエスを見て、知ろうとしたのに、イエスに見られ、知られ、「岩(ケファ、ペトロ)」としての使命を与えられた(マタイ16:18)。

私たちもまた聖書に記されたイエスに近づく。するとどうだろう。聖霊の風を受ける「私」としてイエスに知られる。イエスの声を聞こうと耳を傾けるが、私の声がイエスに聞かれ、何かが託される。

獣、空の鳥、大地、海の魚(ヨブ 12:7~8)。「彼らはみな知っている~(12:9)」。「すべて命あるものは、肉なる人の靈も、御手の内にあることを(12:10)」。だから思い起こす。知るより知られていることを。

聖書の御言葉によって キリストを見 その声を聞き その姿に触れる 聖霊の風に吹かれながら 位相を逆転させる聖霊の御業 キリストに見られ 聞かれ 私自身が知られる 生と死もまた同様 本日礼拝後に 30分ほど教会規則に関する話し合いをします。2/11(水祝)12:00~2:00 エステル会。 牧師の動き:2/9(月)YMCAで聖書のおはなし。2/10(火)山梨英和学院と教育懇談会・分区教師会。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。